

雛の吊るし飾りとは……。

「雛の吊るし飾り」は、女兒の健やかな成長を願う願い飾りです。ひな人形の代わりに手作りの人形を飾ったのがはじまりとされています。

竹ひごに縮緬を巻いて作った輪に糸を5本掛け、各々に11個(計55個)の布製の人形を吊るすのが基本となっています。55個という数の意味は、日本では奇数が尊い数として大切にされてきたことや、昔は50歳以上生きることができた人は長寿といわれていたことが理由となっています。ひとつひとつの吊るし飾りは古布などを用いてすべて手作りで、それぞれおめでたい意味が込められています。



■期間 1月中旬～4月上旬

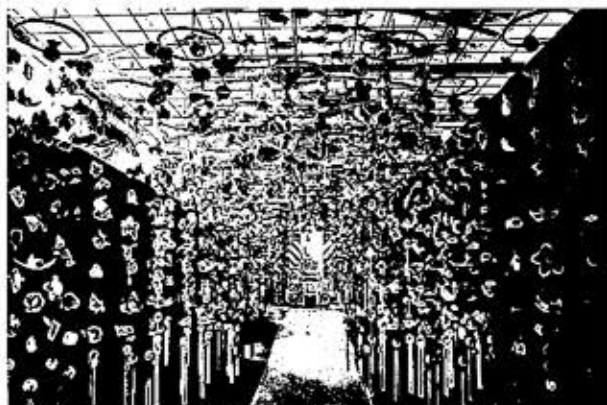
■場所 根羽村 ネバーランド内特設展示場

■時間 ネバーランド 午前9時30分～午後5時まで

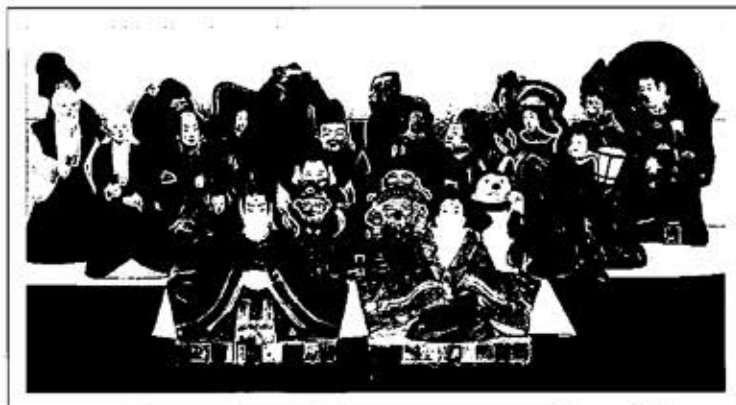
ネバーランドの雛祭り

「二千体吊るし雛 & のぞき雛」

ネバーランドの特設会場に吊るされた二千体飾りの下を、ネバーランドを訪れてくださった皆様方にくぐっていただくことにより、くぐられた皆様の厄を払い多幸を願わせていただきます。その他にも、小さな小窓から中をのぞいて鑑賞する「のぞき雛」や、根羽村に古くから飾られてきた「土雛」が展示されるなど、様々な飾り方の雛祭りが展示されます。



ネバーランドの二千体吊るし雛くぐり



根羽村の土雛

お問い合わせ先

ネバーランド株式会社

〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村4918-1

TEL.0265-49-2880 FAX.0265-49-2882